

令和7年度 学校教育目標 「挑戦 つながる笑顔 丹那の子」

重点目標 「自ら学ぶ子」「発信する子」「やり抜く子」



丹那小だより

函南町立丹那小学校
令和7年4月発行

令和7年度がスタートしました！

校長 土屋 清隆

4月7日の始業式では、少ない人数ながら、びっくりするくらい大きな声・美しい声で、丹那小学校の校歌を歌う子供の姿に改めて感動しました。また、その後の入学式では、しっかりした態度で入学式に臨む3名の新入生と、新入生を迎える上級生の子どもたちの温かな眼差しに、学校全体がよい船出ができたことを実感いたしました。

令和7年度が、全児童数44名でスタートしました。

今年度の丹那小学校の学校教育目標は「挑戦 つながる笑顔 丹那の子」、重点目標は「自ら学ぶ子・発信する子・やり抜く子」です。

難しそうなことにも未知のことにも恐れず、たくましくそしてしなやかにチャレンジできる子供が育つように全職員で支えていきます。また、子供たちが「人」とつながり、「こと・もの」とつながり、「学び」につながり、なによりも、自分自身の「未来」とつながっていくよう、子供たちが生き生きと活躍する子供主体の学校づくりを目指します。

これらの目標を達成するためには、まず、学校が子供にとって「安心・安全」な場所であればなりません。子供たち一人一人に居場所があり、誰からも大切にされているという安心感がなければ、学校生活で生き生きと自分の力を伸ばすことができません。教師や大人が、声を聴き、目と心を離さず、場や役割を与え、頑張った過程や成果を価値付け、広げることにより子供たちは、自信と安心感を得られます。そして、周りの仲間にも心に向けられるようになります。認められている自分だからこそ多様性を認め、一人一人のよさを認め、互いに尊重できるようになってきます。授業や行事等、全ての教育活動においてこのような子供たちの姿を育んでいきます。



しかし、教育は学校だけでは成し得ません。ご家庭や地域のお力添えが欠かせません。子供たちは、伸びたい、認められたいと思っています。今後とも家庭や地域でのあたたかな声かけをお願いします。

歴史と伝統ある丹那小学校に集った子供たち、保護者の皆様、地域の皆様、教職員。全ての方々にとって、居心地のよい、誇りに思える学校を、皆で楽しく作っていきましょう。

